

平成17年6月期 中間決算説明会

平成17年2月23日(水)

ウェルネット株式会社

目 次

- 平成17年6月期中間決算の概要
- 当社の概要
- 経営方針と今後の取組み

この資料に掲載されております当社の計画及び業績の見通し、戦略等は発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。あくまでも、将来の予測であり、様々なりスクや不確定要素により、実際の業績と大きく異なる可能性がございますことを、予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

平成17年6月期中間決算の概要

1. 中間決算ハイライト
2. 財務情報
3. 通期見通し

当中間期の営業概況

ビルディングサービス

E-ビルディング

名鉄バスなど新規契約バス会社 / 路線数は順調に増加
ANAに搭乗券発券用二次元コード配信開始(16年12月)
ソニーミュージックエンタテインメントと、ファンクラブ向け収納スキームで提携
(マルチペイメントの決済ライナップにクレジットカードによる決済も加わる)

国内航空需要動向: 台風の影響により前年比減
都市間高速バスも台風等天候不順による影響を少なからず受ける

ビルディング

新規開拓の強化 新規契約事業者が順調に増加
既存先のフォロー強化 大手取引先を中心に、既存契約事業者の取扱高も堅調に増加

システム開発関連サービス

受託開発については、順調に推移するものの小規模案件が多かった

当中間期の決算概要

(単位:百万円)

	前中間期 (03/12)	前期 (04/6)	当中間期 (04/12)	前中間期比 増加率
売上高	781	1,542	816	4.5%
売上総利益	311	617	342	9.6%
営業利益	109	214	137	24.7%
経常利益	114	226	118	3.3%
当期純利益	65	139	68	2.9%

(注) 営業利益の伸びに比べて、経常利益の伸びが低くなっておりますが、これは当中間期において営業外費用に株式公開に係わる費用28百万円を計上したためです。

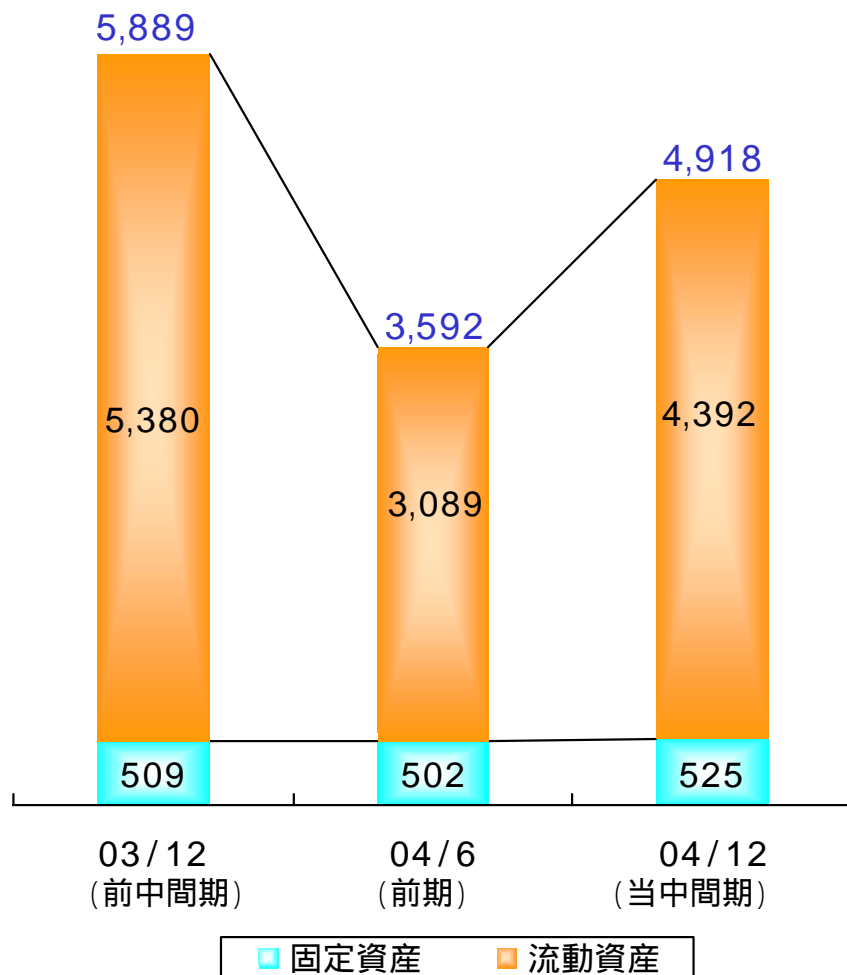
部門別売上高・売上総利益の状況

(単位:百万円)

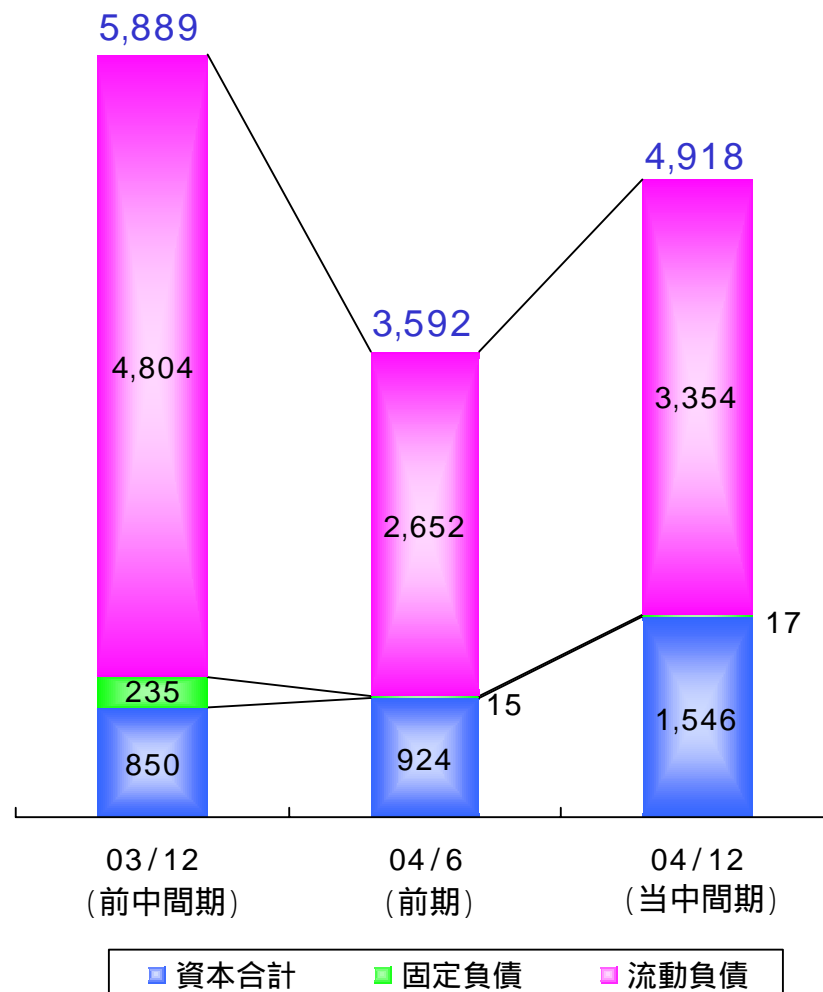
		前中間期 (03/12)	前期 (04/6)	当中間期 (04/12)	前中間期比 増加率
ビルディングサービス					
E - ビルディング	売上高	338	642	344	1.8%
	売上原価	201	383	185	-8.1%
	売上総利益	136	259	159	16.4%
ビルディング	売上高	414	836	458	10.7%
	売上原価	250	503	281	12.6%
	売上総利益	163	332	176	7.7%
システム開発 関連サービス	売上高	28	63	13	-53.7%
	売上原価	17	37	7	-59.2%
	売上総利益	11	25	6	-45.2%

貸借対照表

■ 資産の部 (単位:百万円)

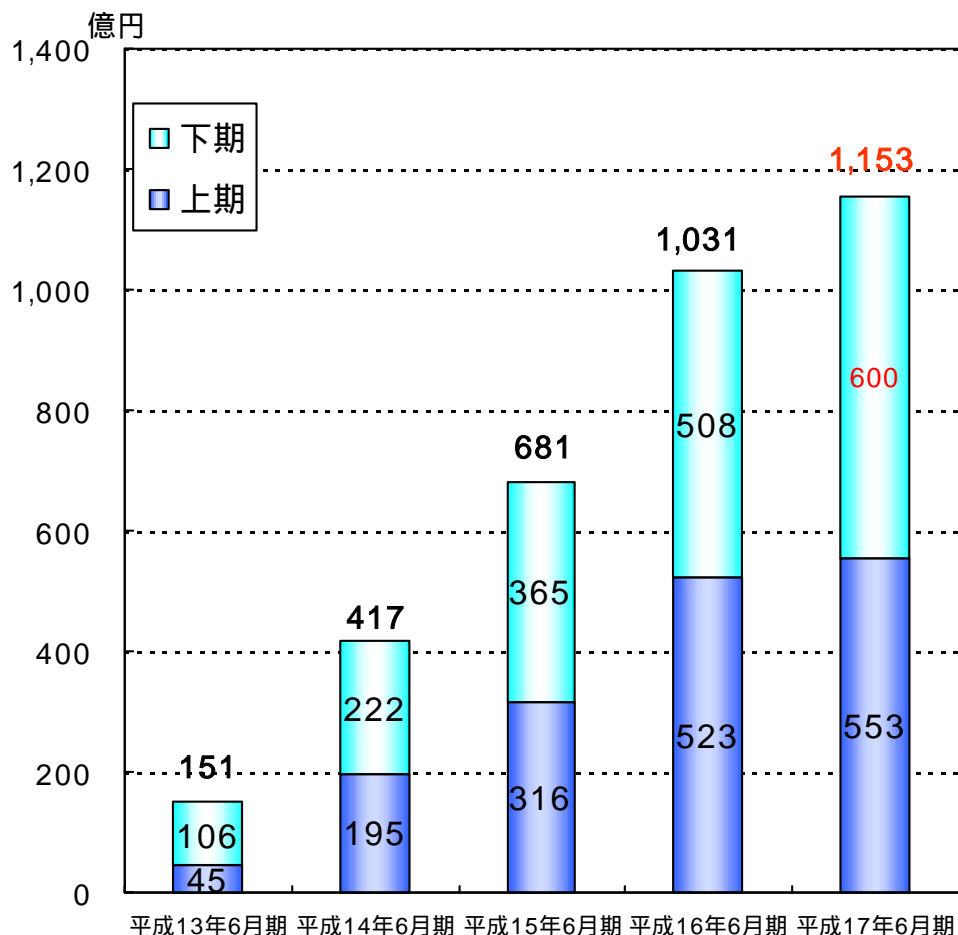


■ 負債・資本の部 (単位:百万円)



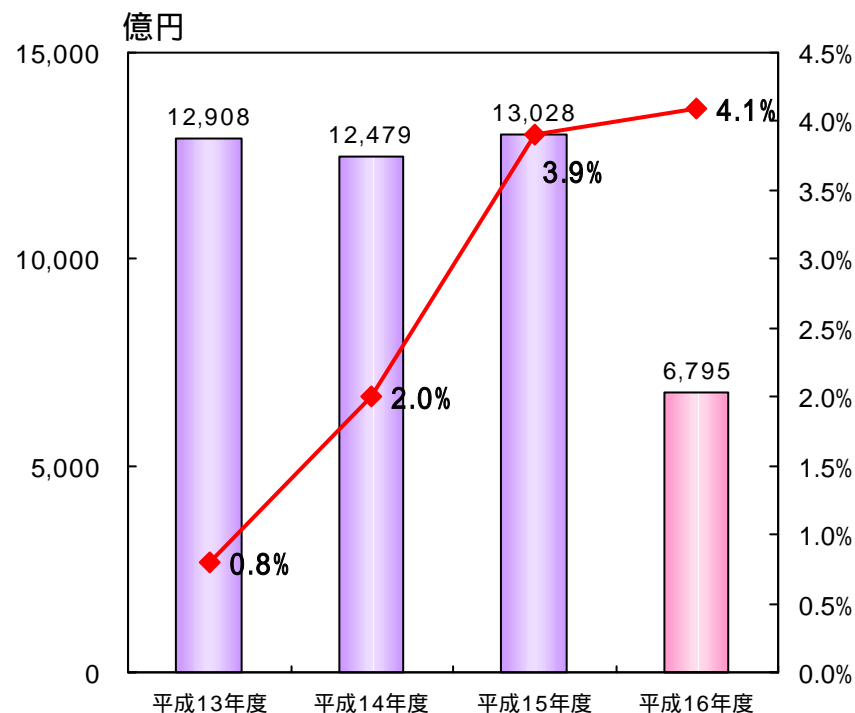
収納金取扱高

収納金取扱高の推移



平成17年6月期下期は見込み金額

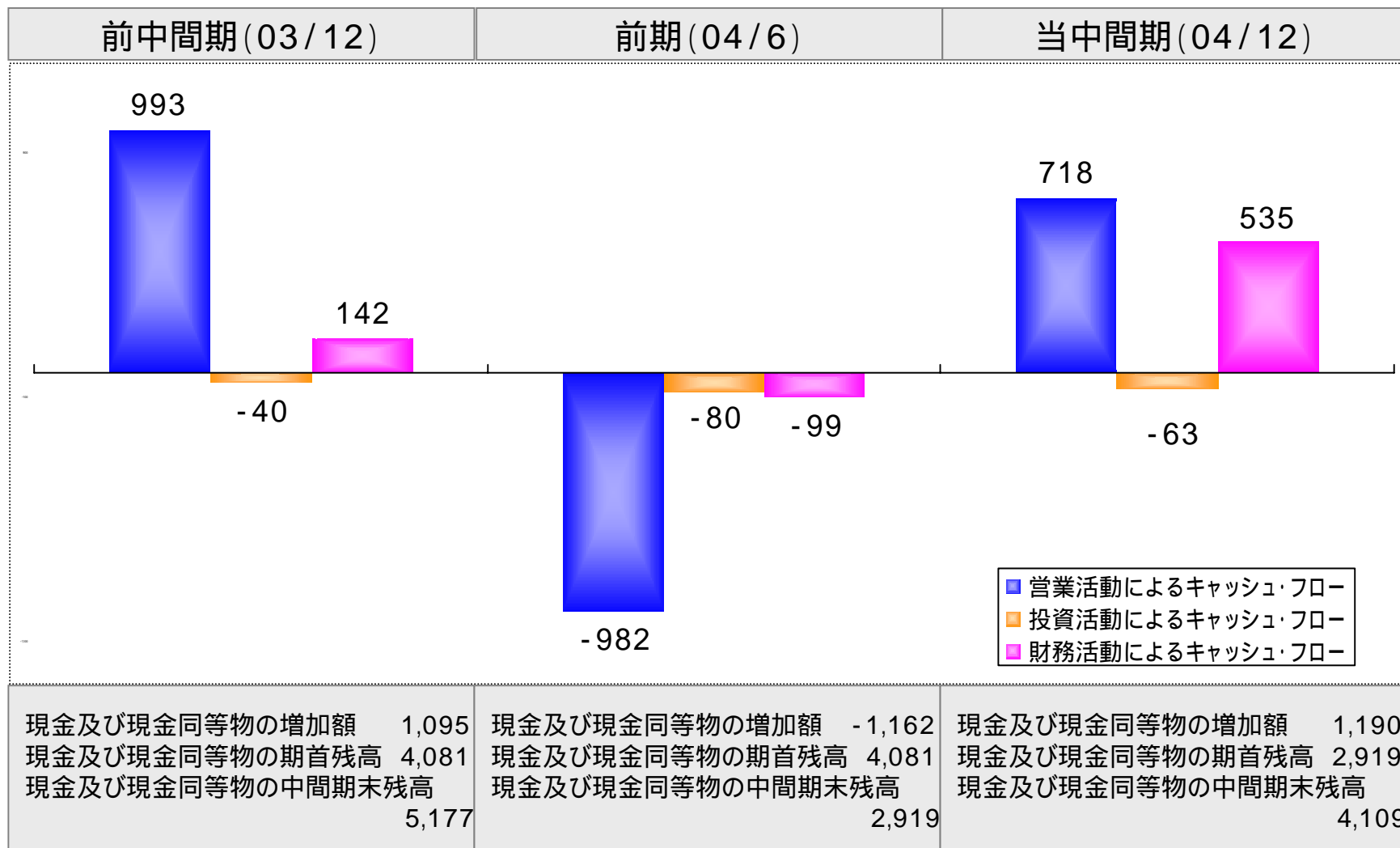
航空業界における当社シェア



- 国内航空旅客収入
 当社シェア率
- (注) 1. 当社シェア = 航空会社からの収納金 ÷ 国内航空旅客収入
 国内航空旅客収入は、国土交通省「航空輸送に係る情報公開」より
2. 平成16年度は上期(4~9月)
3. 国内航空旅客収入には団体・ツアー等が含まれているが、当社の取り扱いは個人客が主体



キャッシュ・フローの状況



通期の見通し

下期の活動計画

上期に引き続き、新規契約事業者数と既存契約事業者の取扱件数の増加を見込む

平成17年2月より、セブン - イレブンインターネット決済との接続が始まり、マルチペイメントサービスの決済地点数が大幅に増加(1万店舗以上)

平成17年3月より、西鉄バスを中核とした九州バス会社11社で構成する九州バスシステムが稼働、予約済み高速バスチケットの代金収納&チケット発券開始(38路線)

次世代型請求決済システムのバックヤード部分の完成・今期中に稼働見込み
BtoB請求書発行・決済バックヤードビジネスの拡大
(住友商事のインターネット花キューピット)

ペイジー(Pay-easy)提携金融機関を1,300程度まで拡大予定

MPN共同利用センターとして最大の金融機関数との決済が可能となり、電子決済を拡大

(注) 1. ペイジー提携金融機関

PC・モバイルバンキング決済を可能にするために、MPNの共同利用センターである当社と提携した金融機関です

2. マチペイメントネットワーク(MPN)

多くの金融機関と収納機関を結び、24時間いつでもどこでも公共料金等の各種料金をパソコン、携帯電話、ATM等で支払えるようにするために作られたネットワークです

通期の業績見通し

(単位: 百万円)

	前期実績 (04/6期)	当期予想 (05/6期)	前期比 増加率
売上高	1,542	1,737	12.7%
売上総利益	617	736	19.2%
(売上総利益率 %)	(40.1)	(42.4)	(+ 2.3)
営業利益	214	300	40.2%
(営業利益率 %)	(13.9)	(17.3)	(+ 3.4)
経常利益	226	286	26.5%
(経常利益率 %)	(14.7)	(16.5)	(+ 1.8)
当期純利益	139	168	20.9%
(当期純利益率 %)	(9.0)	(9.7)	(+ 0.7)

(注) 営業利益の伸びに比べて、経常利益の伸びが低くなっておりますが、これは当中間期において営業外費用に株式公開に係わる費用28百万円を計上したためです。

部門別の通期売上高・売上総利益見通し

(単位:百万円)

		前期実績 (04/6期)	当期予想 (05/6期)	前期比 増加率
ビルディングサービス				
E-ビルディング	売上高	642	777	21.2%
	売上原価	383	429	12.0%
	売上総利益	259	348	34.5%
ビルディング	売上高	836	906	8.4%
	売上原価	503	541	7.4%
	売上総利益	332	365	9.8%
システム開発 関連サービス	売上高	63	53	-15.0%
	売上原価	37	31	-16.0%
	売上総利益	25	22	-14.0%

当社の概要

1. 当社の事業概要
2. 主なサービス内容
3. 事業リソース

当社の事業概要

ビルディングサービス

E-ビルディング ペーパーレスでの
電子請求・電子決済・電子認証

マルチペイメントサービス

ケータイチケットサービス

ビルディング 請求書・払込取扱票で使って
代金請求・回収

収納代行サービス

発行代行サービス

システム受託開発関連サービス

ビルディングサービス導入のための各種システムの
受託開発、サポート

代金決済をコアとした
トータル・ソリューションビジネスを展開

スキーム・課金の特徴

当社が提供するスキームのコア
当社が提供するスキームのコア
自社開発 & 自社運営

開発・運営費は
収納代行手数料等の課金時に
従量制課金システムによる回収

事業者のメリット

システム開発に係る経費と時間が
不要

初期投資の抑制が可能

消費者の利便性向上による販促
機会の増大

主力商品(サービス)

■ マルチペイメントサービス(電子請求・電子決済)

従来の紙の請求を行わない、電子請求・リアルタイムの電子決済です。

決済インフラ



【代表的なスキーム】

JALグループ・ANAグループ: キャッシュチケットレス

高速バス各社: 高速バスチケット代金収納 & チケット発券

対象路線: 98社380路線 (2005年2月21日現在)

主力商品(サービス)

■ ケータイチケット(二次元コード認証)サービス

既に7,000万台以上のネット接続可能な携帯電話が普及しています。その携帯電話を、チケット・会員証等に利用できるシステムが“ケータイチケットサービス”です。
申込～決済～チケット受取のすべてを携帯電話で行うことができます。



【代表的なスキーム】

JALグループ: ケータイチェックイン

ANAグループ: スマートeピックアップ(2004年12月より開始)

高速バス(京王電鉄バス・神姫バス): 高速バスケータイチケット

■ 収納・発行代行サービス(請求回収系バックヤード)

請求書の印刷・発送～収納情報の処理まで全て自社内で一貫運用しています

【代表的なスキーム】

カウネット(コクヨの通信販売)の請求及び回収代行

住友商事(インターネット花キューピット)の請求及び回収代行

事業リソース

■ マルチペイメント / ケータイチケットサービスの決済インフラ

CVSチェーン		ペイジー提携金融機関	
	マルチメディア端末 (ロッピー)	日本郵政公社	
	マルチメディア端末 (ファミポート)	銀行 (17行)	みずほ、東京三菱、りそな、埼玉りそな、東京都民、北陸、北国、駿河、大垣共立、十六、中国、佐賀、東和、横浜、第三、北海道、紀陽
	POSレジ (ケータイ決済)		
	インターネット決済	農協・漁協	全国667の農協・農協連合会
約3,100店舗での支払いが可能			全国359の魚協・魚協連合会
銀行		信用組合 (10信組)	群馬県、第一勧業、都留、長野県、愛知県中央、飛騨、青和、大阪府医師、香川県、滋賀県
みずほ銀行	ATM約6,400台		
2005年5月から りそな銀行・埼玉りそな銀行 のATMでもサービス開始予定		労働金庫 (11労金)	北海道、東北、中央、長野県、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州、沖縄県

2005年2月21現在の提携先
ペイジー提携金融機関は、地銀・信金・農協を中心に
今期末までには1,300行程度まで拡大予定

2004年10月末現在の店舗数
CVSと〒を合わせて約6万4千カ所
で取扱払込票を使って代金支払いが
可能です。

■ CVS・テネットワーク

CVSチェーン・テ	店舗数
	10,571
	7,911
	6,262
	6,253
	1,956
	1,642
	1,369
	987
	829
	667
	557
	323
	約100
郵政公社 (郵便局・簡易郵便局)	約24,700

経営方針と今後の取組み

1. 経営方針
2. 今後の取組み

経営方針

- スキーム開発企業
- システムは自社で開発し、自社で運営
- 利益成長企業



決済用バーコードとマルチペイメント決済のインフラ数
二次元コードを利用したケータイチケット(電子チケット)の発行
においてアドバンテージの確立(NO. 1 企業)、
さらにこのアドバンテージを大きなものとする

携帯電話を利用したサービスの拡大

7,000万台以上のインターネット接続可能な携帯電話が存在

認証インフラ機能として大きな可能性



個人認証プラットフォームの提供 認証ビジネスの拡大へ



認証ビジネスの取組み

ケータイチケットの導入推進(乗物系・興行系中心)

認証プラットフォームの基盤整備

認証を行うインフラ(読取機)整備に積極的関与
コラボレーションの推進



電子決済への対応

当社はMPNを使った決済(ペイジー)で、第1号の共同利用センターとして電子決済では先行。提携金融機関も今期末までには1,300程度までに拡大予定



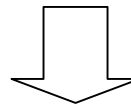
電子決済へのドライブを加速

BtoC決済

マルチペイメントサービスの機能強化
新しいユーザーの開拓等販促機会の拡大

BtoBtoC決済
電子自治体

地方自治体は、e-ジャパン計画に基づきMPNを活用した行政サービスの電子化(電子申請・申告、電子決済)が求められている



「電子自治体」構想への積極的アプローチ

MPNの決済部分(税金等の電子決済)を担当すべく地方自治体へ積極的な提案活動を推進

「受付 / 決済 / 認証」 トータル・ソリューションの提供

「受付 / 決済 / 認証」のトータル・ソリューション

当社と契約するだけで、事業内容・規模に合わせて、当社のあらゆるソリューションが利用できます

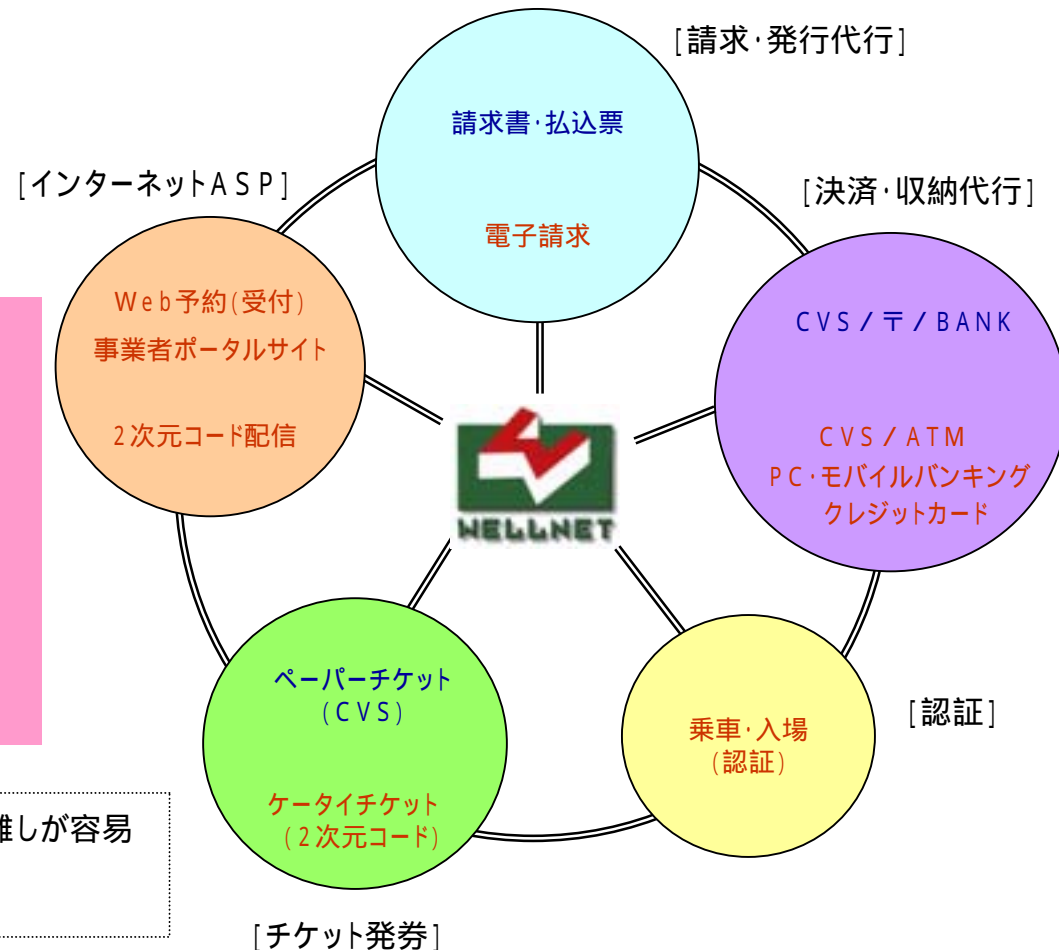
ペーパー、ペーパーレス(電子)の双方のソリューションに対応

当社に任せておけば、イニシャルコストを抑制しつつ、シームレスに電子化に対応

トータル・ソリューションは事業者の開発コストを低減し、短期間での導入が可能

- ・それぞれの部分は部分(部品)単位で機能し、接続 / 切り離しが容易
- ・インターフェース部が標準化
部分個別バージョンアップ可能、スピーディーな要件満足

青字はペーパーを使つてのソリューション
赤字はペーパーレス(電子)ソリューション



お問い合わせ先

ウェルネット株式会社

管理部 IR担当 宮口・片石

TEL 011 - 809 - 3301

FAX 011 - 809 - 3302

URL <http://www.well-net.jp>

E-mail ir@well-net.jp